

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
応用生物学科											
生理学											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中 秀幸			実務 経験	有	職種	研究開発				
授業概要											
生体内での時間的変動と共に生命現象を機能の側面から理解する事を目的とする。特に生化学や分子生物学など他の科目の内容を理解したうえで、各細胞が組織・臓器、器官としてどのように機能し構造を成形するのか、それらがどのように協調しながら働き人体を支えているのか、そのメカニズムを学びます。											
到達目標											
各論として各臓器を生命機能の側面から学んでいく。それぞれの臓器がどのような特徴的な働きを担い、それらがお互いにどのような関係性でもって働いているのかを理解する。さらにそれを統合させ恒常性の維持と生体の変化との関わりなどを総合的に理解する事を目標とする。											
授業方法											
消化器系、内分泌系、循環器系、呼吸器系、泌尿器系、感覚器系など各論として生体内をカテゴリ一別に学んでいく事とする。これらは全て関係性をもって生命活動を担っているので各授業が連携している事を理解して授業にのぞむこと。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
難解な授業内容であるのでしっかりとした復習を求めます。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
面白いほど理解できる 生理学Ⅱイエンズビュー 新生物総合資料											
回数	授業計画										
第1回	生理学の全体像と今までの学びとの繋がり										
第2回	消化器系について										
第3回	内分泌系について										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
応用生物学科	
生理学	
第4回	循環器系について
第5回	呼吸器系について
第6回	泌尿器・生殖器系について
第7回	感覚器系について
第8回	生体の統合的理解